

I 農業・農村の概要

日高地方は、御坊市、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町の1市6町からなり、紀伊水道に面した海岸段丘の普通畑、日高川等大小河川沿いの水田、海岸部から中山間地の傾斜地には樹園地が広がっています。

果樹では、日高川町と由良町を中心に温州ミカンや晩柑類が作付けされ、みなべ町、印南町、日高川町を中心にウメの産地が形成されています。

野菜、花きでは、ミニトマトやウスイエンドウ、スターチスや宿根カスミソウなどの施設栽培が御坊市、印南町、みなべ町の海岸部を中心に行われ、また、露地野菜では水田裏作のブロッコリー、作型を組み合わせたエンドウ類の長期出荷産地が形成されています。

水稲は、主要河川流域の平野部を中心に、日高全域で作付けされています。

1. 農業生産の現状

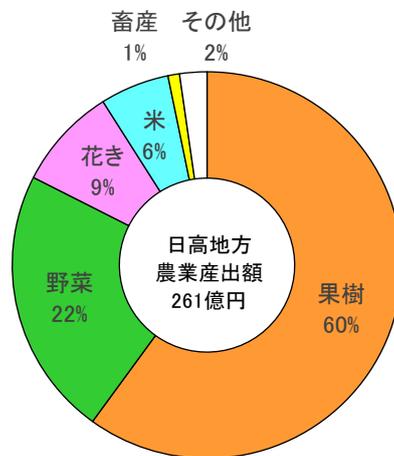
令和3年の農業産出額は約 261 億円で県全体の約 23% を占めており、平成 28 年に比べ 28% 増加しています。

部門別では、果実が 157 億円、野菜が 59 億円、花きが 22 億円となっており、ウメ、エンドウ類、スターチスは、全国に誇る産地が形成されています。

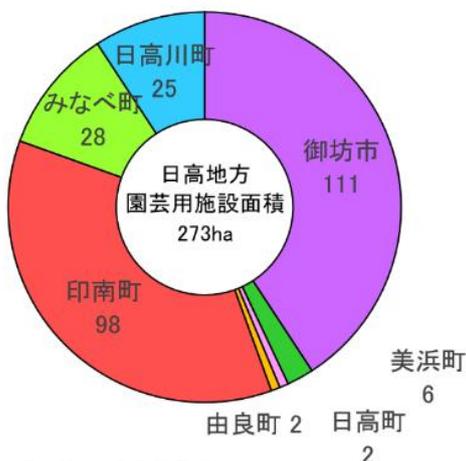
令和5年5月に特定外来生物であるクビアカツヤカミキリが管内で初めて発見され、うめへの被害拡大が懸念されています。

施設園芸では、ビニールハウス等の園芸用施設の設置面積は 277 ha と県全体の約 54% を占め、耐風性や耐暑性を高めた栽培施設の導入が進んできましたが、近年の資材の高騰等により新設は少なくなってきました。

一方、野生鳥獣による農作物被害の影響は大きく、特にサル対策が課題となっています。また、農業労働力不足が表面化しており、対策が急務となっています。

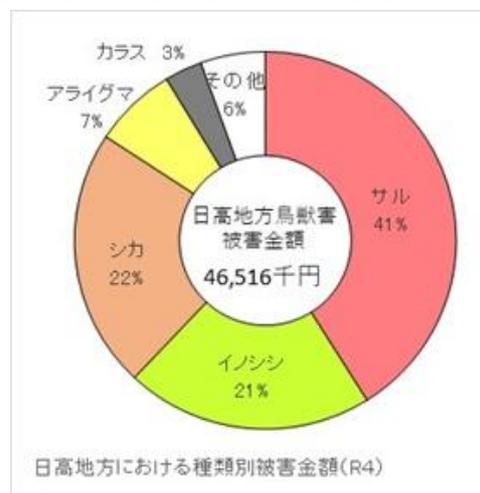


部門別農業産出額割合 (R3生産農業所得統計)



園芸用施設の市町別設置面積

(R4 園芸用施設の設置等の状況)



日高地方における種類別被害金額 (R4)

2. 農業の担い手

2020年の販売農家数は3,470戸となっており、農業経営体における基幹的農業従事者は、5,722人で、男性3,187人、女性2,535人と女性が約半数を占め、農業・農村の重要な担い手となっています。一方、65歳以上の農業就業者の割合は58%となり、今後担い手の減少が懸念されています。

認定農業者は、586経営体（R5.3月末）で、経営改善に向けた取組が行われています。

新規就農者数は年間約24名（直近5カ年平均）、4Hクラブ員数は29名で県全体の約21%を占めています。



新規就農者や青年農業者等を対象としたセミナー「農トレ！日高」

新規就農者の推移（県調べ）

就農形態	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	合計
新規学卒者	3	3	2	4	2	14
Uターン就農者	6	11	13	14	14	58
新規参入者	5	2	6	2	4	19
農業生産法人等への就農者	5	4	3	8	8	28
合計	19	20	24	28	28	119

3. 農地の状況

農業者の高齢化により、農地の維持が難しくなっています。そこで条件に恵まれた農地を中心に、農地中間管理機構の活用による担い手への農地の利用集積が進んだ結果、経営耕地面積3ha以上の大規模経営体が増加しています。また圃場整備により地域の農地を維持する取組も始まっています。

一方、遊休農地が増加しており、日高管内の遊休農地は480ha（R4）と増加傾向にあり、地域農業を守るための取組が求められています。